令和７年度指定管理者モニタリング報告書

施　設　名	加東市東条福祉センター「とどろき荘」
施設所在地	加東市岡本1571番地1
指定管理者	名　称　社会福祉法人　加東市社会福祉協議会 代表者　理事長 [redacted] 住　所　加東市社２６
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリングにより把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、モニタリングの「総合コメント」及び「今後の改善に向けた考え方」を記載した。
担　当　課	健康福祉部福祉総務課　　℡　０７９５－４３－０４０８ 担当者氏名　赤土　拓也

１　総合コメント

休業があった影響で、入浴者数・入浴料金ともに目標を達成することができなかった。
しかし、経費削減の効果や、休業に伴う経費の削減により、指定管理料等の範囲内で運営を行うことができている。
営業再開後、利用者がすぐに回復していることから、ホームページに加え、SNS等で情報発信したことにより、利用者離れの防止及び新規利用者が増加したことが理由の一つであると考えられる。
入浴者数の増加に向けた取組として、SNSを活用し、各種イベントの周知や入浴方法の紹介など、意欲的に行っている点も評価したい。
令和８年度以降もSNSのアクセス分布の分析等、利用者数の増加に向けた取組を行い、収支バランスの取れた運営に努めていただきたい。

２　今後の改善に向けた考え方

利用者の顧客管理や分析結果を活用し、キャンペーンとの連携などにより、利用頻度が増加するよう取り組んでいただきたい。
今後も電気料金や人件費等の高騰が予想されるため、使用量の削減等、経費削減に引き続き取り組んでいただきたい。

３　業務の履行状況について

利用者サービス、設備メンテナンス及び館内の清掃等、適切に履行されている。

４　サービスの質について

アンケート結果を活用し、要望に対し可能な限り迅速に対応するとともに、苦情に対しても入浴時のマナーを張り紙などで周知するなど改善に向けた取組を行っている。
今後についても、アンケート等を活用し、より良い施設づくりを進めていただきたい。

５　収支状況等について

工事に伴う休業があったが、回数券の販売に注力する等、入浴料収入の増加に向けた取組を行ったことや、経費削減に取り組み、指定管理料等の範囲内で運営することができている。 電気料金の急騰に対しては、温泉の温度調整の運転方法を工夫する等、できる限り節電に取り組んでいる。 今後も経費が上昇していくと考えられるため、更なる利用者の増加に向け取り組み、効率的・効果的な運営に努めていただきたい。